

認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究の調査検討組織 設置要綱

1. 設置目的

(株)富士通総研は認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究事業を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、藤井賢一郎を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、(株)富士通総研が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究の調査検討組織 委員等

委員長	藤井 賢一郎（上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授）
委員	赤澤 俊之（横浜市健康福祉局高齢健康福祉部 介護事業指導課長）
	岩尾 貢（社会福祉法人鶴寿会 専務理事）
	山梨 恵子（株ニッセイ基礎研究所生活研究部門 准主任研究員）
	和田 行男（株大起エンゼルヘルプ クオリティーマネージャー）

（敬称略、50音順）

【オブザーバー】

- 厚生労働省老健局高齢者支援課
認知症・虐待防止対策推進室
- 勝又浜子室長
三浦正樹室長補佐
岡本慎係長
市川廣幸係員

認知症対応型共同生活介護のあり方に関する調査研究事業(案)

1. 調査の目的

認知症の人に適したサービスの提供を実現するため、グループホームにおけるケアのあり方に着目したサービス提供実態に関する調査を行い、今後のグループホームにおける報酬体系やグループホーム自体のあり方を検討・整理を行う。

2. 調査客体

今年度新規に開設した事業所を除く（昨年度 1 年間の職員研修の受講状況や、教育投資額を問うため）全国の認知症対応型共同生活介護事業所（約 1.1 万事業所）。

介護サービス情報公表制度に基づき各事業所がデータを登録・更新しているデータベースからデータを抽出予定。

3. 主な調査項目

平成 24 年度老人保健健康増進等事業で実施したアンケートやヒアリングにより整理・分析された基礎資料を深掘りし、今後のグループホームにおけるケアのあり方等についての論点の整理を行う。

・具体的なケアの内容の把握

①入居者の状態（要介護度や ADL）別や施設の類型別での、標準的あるいは特徴的なケアの内容等

②上記①を実施する際の職員のスキルや経験、スキル向上の取組状況（内部研修の実施内容・時間数、外部研修の受講状況、職員の研修計画の有無、等）

4. 調査内容

調査票は事業所（管理者を想定）が回答する 1 種類。入居者に関する設問部分（上記①に関する質問）と事業所に関する設問部分（上記②に関する質問）で構成。

5. 調査方法

調査対象事業所が、調査依頼状記載の URL にアクセスして回答を入力する Web アンケート調査を実施。なお、Web 環境がない、回答者の情報リテラシー等の事情から Web での回答が困難な事業所には、FAX や郵便等で手書き回答を送付頂く予定。

アンケート調査内容等から、追加的に掘り下げるべき事項（定量的な回答データでは把握できない複雑・定性的な事項等）を、追加書面・ヒアリング等により把握。

認知症対応型共同生活介護の在り方に関するアンケート調査

※留意事項 今回の調査は、介護保険給付対象外の自費での利用者は調査対象から除きます。

Q1: 貴事業所の介護保険事業所番号を、半角数字で入力して下さい。

【事業所の基本情報】

Q2-1(非表示): 貴事業所の位置する都道府県名

Q2-2(非表示): 貴事業所を設置した法人等の種類を、以下から当てはまるものを1つ選択して下さい。

01. 社会福祉法人(社協以外)	06. NPO	11. 地方公共団体(市町村)
02. 社会福祉法人(社協)	07. 農協	12. 地方公共団体(広域連合・一部事務組合等)
03. 医療法人	08. 生協	99. その他
04. 社団・財団	09. その他団体	
05. 営利法人	10. 地方公共団体(都道府県)	

Q2-2-1(非表示): 【※設問対象外、ローデータ生成時に編集・追加】

1. 公立	2. 社会福祉法人	3. その他
-------	-----------	--------

Q2-3(非表示): 貴事業所の開始年月日を入力して下さい。

年	月	日
---	---	---

Q2-4(非表示): 貴事業所の定員・ユニット数を、半角数字で入力して下さい。

ユニット	人
------	---

Q2-5(非表示): 貴事業所の法人で、グループホーム以外に別途実施されているサービスがあれば、箇所数を入力して下さい。実施していないサービスには0を入力して下さい。

サービス名	箇所数	サービス名	箇所数
1. 訪問介護		20. 介護予防訪問介護	
2. 訪問入浴介護		21. 介護予防訪問入浴介護	
3. 訪問看護		22. 介護予防訪問看護	
4. 訪問リハビリテーション		23. 介護予防訪問リハビリテーション	
5. 居宅療養管理指導		24. 介護予防居宅療養管理指導	
6. 通所介護		25. 介護予防通所介護	
7. 通所リハビリテーション		26. 介護予防通所リハビリテーション	
8. 短期入所生活介護		27. 介護予防短期入所生活介護	
9. 短期入所療養介護		28. 介護予防短期入所療養介護	
10. 特定施設入居者生活介護		29. 介護予防特定施設入居者生活介護	
11. 福祉用具貸与		30. 介護予防福祉用具貸与	
12. 特定福祉用具販売		31. 特定介護予防福祉用具販売	
13. 夜間対応型訪問介護		32. 介護予防認知症対応型通所介護	
14. 認知症対応型通所介護		33. 介護予防小規模多機能型居宅介護	
15. 小規模多機能型居宅介護		34. 介護予防認知症対応型共同生活介護	
16. 認知症対応型共同生活介護		35. 介護予防支援	
17. 地域密着型特定施設入居者生活介護		36. 介護老人福祉施設	
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		37. 介護老人保健施設	
19. 居宅介護支援		38. 介護療養型医療施設	

Q2-6(非表示):事業所としての指定や介護報酬上の加算があれば1を、なければ0を、それぞれ入力。

1. 短期利用共同生活介護	0. なし/1. あり
2. 共用型指定認知症対応型通所介護	0. なし/1. あり
3. 夜間ケア加算	0. なし/1. あり
4. 認知症行動・心理症状緊急対応加算	0. なし/1. あり
5. 若年性認知症利用者受入加算	0. なし/1. あり
6. 看取り介護の実施	0. なし/1. あり
7. 医療連携体制加算	0. なし/1. あり
8. 退居時相談援助加算	0. なし/1. あり
9. 認知症専門ケア加算 (I)	0. なし/1. あり
10. 認知症専門ケア加算 (II)	0. なし/1. あり
11. サービス提供体制強化加算 (I)	0. なし/1. あり
12. サービス提供体制強化加算 (II)	0. なし/1. あり
13. サービス提供体制強化加算 (III)	0. なし/1. あり

Q3: 貴事業所に併設または隣接されているサービス施設があれば、以下から全て選択して下さい。

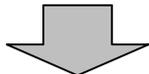
1. なし (単独型)	
2. 認知症対応型通所介護	11. 介護老人保健施設
3. 小規模多機能型居宅介護	12. 介護療養型医療施設
4. 居宅介護支援	13. その他医療機関(選択肢12以外)
5. 訪問介護	14. 有料老人ホーム(特定施設指定含む)
6. 訪問入浴介護	15. 高齢者住宅(サービス付き高齢者向け住宅等含む)
7. 通所介護	16. 配食等食事サービス
8. 短期入所生活介護	17. 介護・医療以外の事業
9. 訪問看護	18. その他
10. 介護老人福祉施設	

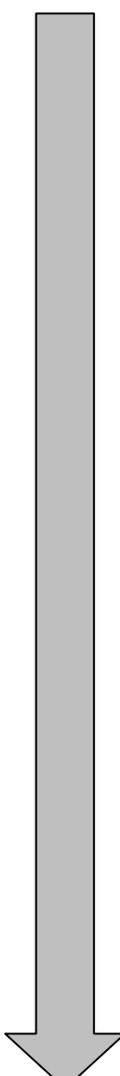
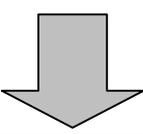
【入居者の状況】

Q4: 貴事業所における、本年10月1日時点での入居者数(複数ユニットの場合は全ユニットの合計)を、半角数字で入力して下さい。

人

11. 障害高齢者日常生活自立度	医師の診断書等を基に、1つ選択	1. 自立 2. J1 3. J2 4. A1 5. A2 6. B1 7. B2 8. C1 9. C2 10. 不明	
12. 認知症高齢者日常生活自立度		1. なし 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa 6. IIIb 7. IV 8. M 9. 不明	
13. 認知症の程度(FAST)	1つ選択	1. 認知機能の障害なし 2. 非常に軽度の認知機能の低下 3. 軽度の認知機能低下 4. 中程度の認知機能低下 5. やや高度の認知機能低下 6. 高度の認知機能低下 7. 非常に高度の認知機能低下	
14. 認知症の状態 (調査時点の状況で記入して下さい。調査時点での状況が不明の場合は、以下の項目は要介護認定の項目ですので、要介護認定時点の評価で記入していただいて構いません)	それぞれ1つずつ選択	意思の伝達	1. 調査対象者が意思を他者に伝達できる 2. ときどき伝達できる 3. ほとんど伝達できない 4. できない
		生年月日や年齢を言うこと	1. できる 2. できない
		自分の名前を言うこと	1. できる 2. できない
		今の季節を理解すること	1. できる 2. できない
		場所の理解(自分がいる場所を答える)	1. できる 2. できない
		徘徊	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		外出すると戻れない	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		物を盗られたなどと被害的になる	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		作話	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		大声をだす	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		介護に抵抗する	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		「家に帰る」等と言い落ち着きがない	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		一人で外に出たがり目が離せない	1. ない 2. ときどきある 3. ある
		いろいろなものを集めたり、無断でもってくる	1. ない 2. ときどきある 3. ある
物を壊したり、衣類を破いたりする	1. ない 2. ときどきある 3. ある		
意味もなく独り言や独り笑いをする	1. ない 2. ときどきある 3. ある		
自分勝手に行動する	1. ない 2. ときどきある 3. ある		

15. 認知症の治療のため利用した医療・看護サービス (9月中)	整数で入力 非該当欄には0を入力	通院	回
		通院（上記のうち、職員が同行した回数）	回
		往診（特別に来てもらう場合）	回
		訪問診療（定期的に来てもらう場合）	回
		訪問看護（医療保険によるもの）	回
		医療連携体制加算の外部委託訪問看護ステーションによる訪問	回
16. この入居者の認知症の治療を行う主治医	1つ選択	1. 自宅生活時からの主治医 2. 貴事業所入所前からの主治医（1以外） 3. 貴事業所が個別に紹介した主治医 4. 貴事業所全体で依頼している主治医 5. その他	6. 主治医はいない
17. 認知症の主治医の専門診療科		1. 神経内科 2. 精神科（神経科、精神神経科） 3. 心療内科 4. 1～3の診療科を重複 5. 1～3以外 6. 不明	

18. 認知症以外で精神科疾患の治療を受けていますか	該当する項目を全て選択	1. 統合失調症 3. てんかん 5. その他の器質性精神病	2. 気分障害（うつ等） 4. アルコール精神病 6. その他	7. いいえ
19. 認知症以外の利用者の精神科疾患のために、特別な対応を行っていますか(9月中)	該当する項目を全て選択 選択した項目の回数欄に整数で入力 非該当欄には0を入力	1. 精神・神経科の通院（認知症の治療とは別に）	月 回	
		2. 往診（認知症の治療とは別に特別に来てもらう）の受入	月 回	
		3. 訪問診療（認知症の治療とは別に定期的に来てもらう場合）の受入	月 回	
		4. 医療保険の訪問看護（認知症の看護とは別に）の受入	月 回	
		5. 医療連携体制加算の外部委託訪問看護の訪問（認知症の看護とは別に）	月 回	
		6. 主治医との電話等による相談（認知症の容量とは別に）	月 回	
		7. 専門医を嘱託医等として契約（認知症の療養とは別に）		
		8. 行っていない		
20. この入居者の認知症以外の精神科疾患の治療を行う主治医	1つ選択	2. 自宅生活時からの主治医(1以外) 3. 貴事業所入所前からの主治医(1, 2以外) 4. 貴事業所が個別に紹介した主治医 5. 貴事業所全体で依頼している主治医 6. その他	1. 認知症治療を行っている主治医と同じ 7. 主治医はいない	
21. 認知症以外の精神科疾患の主治医の専門診療科		1. 精神科（神経科、精神神経科） 2. 心療内科または神経内科 3. 1、2以外の診療科 4. 不明		
22. 認知症以外の精神科疾患のために特別な配慮(幻覚妄想、感情・行動への支援)が必要ですか		1. はい 2. 明確ではないがおそらく認知症以外の精神疾患による感情・行動があり、そのための支援が必要 3. いいえ 4. 不明		

23. ADL	それぞれ1つずつ選択	移動	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助	4. 全介助
		食事	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助	4. 全介助
		排泄	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助	4. 全介助
		入浴	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助	4. 全介助
		着替え	1. 自立	2. 見守り	3. 一部介助	4. 全介助
24. IADL	それぞれ1つずつ選択	バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車も含む)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない			
		日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない			
		自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない			
		請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない			

		<p>預貯金の出し入れをしていますか</p> <p>年金などの書類が書けますか</p> <p>新聞を読んでいますか</p> <p>本や雑誌を読んでいますか</p> <p>健康についての記事や番組に関心がありますか</p> <p>友人の家を訪ねていますか</p> <p>家族や友達の相談このっていますか</p> <p>病人を見舞うことができますか</p> <p>若い人に自分から話しかけることがありますか</p>	<p>1. できるし、している</p> <p>2. できるけどしていない</p> <p>3. できない</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
25. 現在利用しているサービスの状況（非表示）	当てはまるものを全て選択	<p>1. (介護予防)訪問介護(ホームヘルプサービス)</p> <p>2. (介護予防)訪問入浴介護</p> <p>3. (介護予防)訪問看護</p> <p>4. (介護予防)訪問リハビリテーション</p> <p>5. (介護予防)居宅療養管理指導</p> <p>6. (介護予防)通所介護(デイサービス)</p> <p>7. (介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)</p> <p>8. (介護予防)短期入所生活介護(特養等)</p> <p>9. (介護予防)短期入所療養介護(老健・診療所)</p> <p>10. (介護予防)特定施設入居者生活介護</p> <p>11. (介護予防)福祉用具貸与</p> <p>12. 特定(介護予防)福祉用具販売</p> <p>13. 住宅改修</p> <p>14. 夜間対応型訪問介護</p> <p>15. (介護予防)認知症対応型通所介護</p> <p>16. (介護予防)小規模多機能型居宅介護</p> <p>17. (介護予防)認知症対応型共同生活介護</p> <p>18. 地域密着型特定施設入所者生活介護</p> <p>19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</p> <p>20. 市町村特例給付</p> <p>21. 介護保険給付外の在宅サービス</p> <p>22. 介護老人福祉施設</p> <p>23. 介護老人保健施設</p> <p>24. 介護療養型医療施設</p> <p>25. 認知症対応型共同生活介護適用施設(グループホーム)</p> <p>26. 特定施設入所者生活介護適用施設(ケアハウス等)</p> <p>27. 医療機関(医療保険適用療養病床)</p> <p>28. 医療機関(療養病床以外)</p> <p>29. その他の施設</p>	
26. 主観的健康観	1つ選択	<p>1. とてもよい</p> <p>2. よい</p> <p>3. あまり良くない</p> <p>4. よくない</p> <p>5. 不明</p>	
27. 初めて周囲が本人の認知症に気付いた時	いずれか選択し、1なら西暦を入力	<p>1. ()年</p> <p>2. 不明</p>	

28. 認知症・精神科疾患以外で現在治療中、または後遺症のある病気	当てはまるものを全て選択	1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常) 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物) 12. 血液・免疫の病気 13. 統合失調症 14. うつ病 15. パーキンソン病 16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他 19. ない
29. 治療の有無	1つ選択	1. 治療あり 2. 治療なし 3. 不明
30. 日常生活に支障のある痛み	1つ選択	1. ある 2. ない
31. 1ヶ月間に利用した医療・看護サービス	整数で入力	通院 回
		(上記の内、職員が同行した回数) 回
		往診(特別に来てもらう場合) 回
		訪問診療(定期的に来てもらう場合) 回
		訪問看護(医療保険によるもの) 回
		医療連携体制加算の外部委託訪問看護ステーションによる訪問 回
32. この入居者に、事業所に対応している医療ニーズ(事業所内の対応のみならず外部連携先による対応も含む)	当てはまるものを全て選択	1. 胃ろう・経管栄養 2. インシュリン注射 3. 膀胱カテーテルの管理 4. 人工透析に関わる管理(シャント管理や腹膜透析の管理等) 5. 痰の吸引 6. 褥瘡の処置 7. 在宅酸素療法 8. 人工肛門・人工膀胱の管理 9. 人工呼吸器の管理・気管切開の処置 10. ガン末期の疼痛管理 11. 点滴管理 12. 中心静脈栄養 13. カテーテル 14. その他の医療行為 ----- 15. なし
33. 過去1年間に入院した場合に医療に付随するケアの状況	当てはまるものを全て選択	1. 入院先医療機関の諸手続 2. 入院する際の付添 3. 入院中の、洗濯、洗面、身の回りの世話等 4. 入院中の訪問 5. 医療機関からの入居者に関する情報の提供・共有 6. 退院前カンファレンス等への参加 ----- 7. 上記いずれもなし 0. 過去1年入院がない
34. グループホーム入居後の、精神科病院への入院歴	当てはまるものを全て選択	1. 入院歴あり(認知症のため) 2. 入院歴あり(認知症以外の精神科疾患のため) 3. 入院歴なし
	整数で入力	入院回数 回 通算入院期間 約 ヶ月
35. 介護の手間や頻度	それぞれ1つずつ選択	1. 職員の見守りがないと、自分の意のままに外へ出て行ってしまうため支援を要する 2. 日に1回程度 3. 数日に1回程度 4. 週1回程度 5. 月1回程度 6. ない

		<p>2. 他の入居者との関係で職員への支援を要する入居者（例：他者への暴言・暴力、他者の居室に入る、他者の物に触れる・持ち去る、大声や奇声を発する、独り言を言い続ける、所かまわず排尿する・衣服を脱ぐ、食べられない物を食べる、等）</p> <p>3. 日中（7時～21時）は起きているにもかかわらず、夜間（21時～7時）は、眠れない（例：夜間の連続睡眠時間が2時間未満、総睡眠時間が4時間未満等）</p> <p>4. 職員等に対して、頻回又は長時間にわたり自分の話を訴える（例：「家に帰して」「お金や物を盗まれた」「食べたのに食べていない」「病院へ連れて行って」等、自分の境遇、身体の不調等）</p>	<p>1. 一日に何回も 2. 日に1回程度 3. 数日に1回程度 4. 週1回程度 5. 月1回程度 6. ない</p> <p>1. 一日に何回も 2. 日に1回程度 3. 数日に1回程度 4. 週1回程度 5. 月1回程度 6. ない</p> <p>1. 一日に何回も 2. 日に1回程度 3. 数日に1回程度 4. 週1回程度 5. 月1回程度 6. ない</p>
<p>36.この入居者に個別ニーズに対して支援していること（9月に1回以上行ったもの）</p>	<p>当てはまるものを全て選択</p>	<p>1. 本人の意志に基づき個別に散歩・買物にでかけるのを支援 2. 本人の意思に基づき個別に美容院・理容院・飲食店等へ出かけるのを支援 3. 本人の意思に基づき、個別に料理することを支援（火の使用含む） 4. 本人の食の「好み」（メニューや食材；柔らかさや食形態は「好み」としない）に対応して調理（グループホーム内で調理した場合のみ） 5. 職員とともに全体的調理・盛り付け配膳を手伝ってもらうことを支援 6. 本人の好きな趣味活動（演芸、音楽、運動、農作業等）に取り組むことを支援 7. おしゃれ（お化粧品、正装、着付け等）をすることを支援 8. 個別の新聞や雑誌の購入・購読に対応 9. 家族や知人宅を訪ねることを支援 10. 家族や知人に電話を掛けることを支援 11. 家族や知人が居室で過ごすことを支援</p>	
<p>37.この入居者について過去1年間に1回以上行ったもの（行ったかどうかについてのみチェックして下さい）</p>	<p>当てはまるものを全て選択</p>	<p>1. 歩き回って転倒したりどこかに行かないよう、ベッドや車椅子に胴や手足を紐等で縛る 2. ベッド等から転落しないよう、ベッドに胴や手足を紐等で縛る 3. ベッドの周囲を柵や壁等で囲んだりして自分では降りられないようにする 4. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないよう、手足を縛る 5. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないよう、あるいは皮膚をかきむしらないよう、ミトン等を使う 6. 車椅子や椅子等からずり落ちたり、立ち上がったたりしないよう、Y字型の専用ベルト、腰ベルト（紐）等を使う 7. 立ち上がったたりしないよう、椅子・車椅子と机の距離を近づける 8. 立ち上がる能力のある人を、立ち上がりを妨げるような椅子を使用する 9. 脱衣やおむつを外す人に、介護衣（つなぎ）を着せる。 10. 他の人に迷惑をかけないよう、ベッド等に胴や手足を紐等で縛る 11. 行動を落ち着かせるために、向精神薬を使っている（「過度」ではなくても、少しでも使っている場合には） 12. 自分では開けられないような部屋に閉じこめる</p>	

【入居者の状況】

（この画面は、Q5を飛ばした事業所と、Q5を回答したものの入居者が18人超の事業所にのみ表示）

Q6-1: 貴事業所における、**本年10月1日時点**での、要介護度別での入居者数（複数ユニットの場合は全ユニットの合計）を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0（ゼロ）を入力して下さい。

入居者総数	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	人	人

Q6-2: 貴事業所における、**本年10月1日時点**での、認知症高齢者の日常生活自立度別での入居者数（複数ユニットの場合は全ユニットの合計）を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0（ゼロ）を入力して下さい。

入居者総数	自立	I	II	III	IV	M	不明
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	人	人

Q6-3: 貴事業所における、**本年10月1日時点**での、障害高齢者日常生活自立度別での入居者数（複数ユニットの場合は全ユニットの合計）を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0（ゼロ）を入力して下さい。

入居者総数	自立	J	A	B	C	不明
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	人

Q6-4: 貴事業所における、**本年10月1日時点**での、入居期間別での入居者数（複数ユニットの場合は全ユニットの合計）と、平均入居期間を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0（ゼロ）を入力して下さい。

入居者総数	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上	平均入居 期間(年)
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	. 年

Q7(Q5を飛ばした事業所のみ表示): 貴事業所における、**本年10月1日時点**での、認知症の機能について該当する入居者数（複数ユニットの場合は全ユニットの合計）を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0（ゼロ）を入力して下さい（項目は要介護認定の項目の一部です）。

【この設問は、もし回答が困難な場合は、次の設問に飛んで頂いても構いません】

入居者総数	1.認知機能						
	意思伝達	生年月日 を言う	自分の名 前を言う	今の季節 を理解	場所の理 解	徘徊	外出して 戻れない
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	人	人

入居者総数	2.精神・行動障害									
	被害的	作話	大声を 出す	介護に 抵抗	落ち着 き無	一人 で出た がる	収集癖	物や衣 類を壊 す	独り言 独り笑 い	自分勝 手に行 動
※Q4の値を自動表示(変更不可)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

【職員の状況】

Q8(非表示): 以下の欄に該当する職種別の職員数を半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は 0 (ゼロ)を入力して下さい。

	実人数		常勤換算人数
	常勤職員	非常勤職員	
管理者			
計画作成担当者			
介護福祉士			
看護師			
その他の従業者			

Q9: 業務経験年数(貴事業所での勤務年数ではなく介護職としての通算)別での職員数(本年10月1日時点)を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は 0(ゼロ)を入力して下さい。

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
常勤職員	人	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人	人

Q10: 貴事業所の介護職員が保有する資格等(本年10月1日時点)について、各欄に人数を半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は 0(ゼロ)を入力して下さい。1人の職員が複数の資格を保有する場合はそれぞれの欄で別々にカウントして下さい。

(該当人数記載・重複可)	常勤職員	非常勤職員
①介護福祉士	人	人
②介護職員基礎研修	人	人
③ホームヘルパー1級	人	人
④ホームヘルパー2級	人	人
⑤介護支援専門員	人	人
⑥看護師	人	人
⑦准看護師	人	人
⑧社会福祉士	人	人
⑨精神保健福祉士	人	人
⑩作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・言語聴覚士(ST)	人	人
⑪管理栄養士・栄養士	人	人

Q11: 本年10月1日から2週間の介護従事者の総勤務時間数を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は 0(ゼロ)を入力して下さい。

10/1～10/14の総勤務時間数(職員の総合計)(小数第1位まで)			
介護従事者	管理者の介護従事者としての勤務時間	時間	兼務している場合、按分し、介護従事者としての勤務時間数のみ入力して下さい 各自の勤務表からの時間数を合算
	計画作成担当者の介護従事者としての勤務時間	時間	
	介護従事者の勤務時間	時間	
事業所の定める週の勤務時間数		時間	

【専門医療機関との連携体制】

Q12-1: 認知症専門医療・看護との連携体制として、貴事業所が受け入れている医療看護、連携等の取組を、以下の中から該当するもの全て選択して下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 訪問診療・往診（同一・関連法人） | 2. 訪問診療・往診（同一・関連法人以外） |
| 3. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人） | 4. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人以外） |
| 5. 専門医とのカンファレンスの実施 | 6. 専門医との日中の連絡体制 |
| 7. 訪問看護とのカンファレンスの実施 | |

Q12-2: 認知症以外の精神科・神経科疾患に対する対応体制として、貴事業所が受け入れている医療看護、連携等の取組を、以下の中から該当するもの全て選択して下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 訪問診療・往診（同一・関連法人） | 2. 訪問診療・往診（同一・関連法人以外） |
| 3. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人） | 4. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人以外） |
| 5. 専門医とのカンファレンスの実施 | 6. 専門医との日中の連絡体制 |
| 7. 訪問看護とのカンファレンスの実施 | |

Q12-3: 身体面の医療体制として、貴事業所が実施している取組を、以下の中から該当するもの全て選択して下さい。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 訪問診療・往診（同一・関連法人） | 2. 訪問診療・往診（同一・関連法人以外） |
| 3. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人） | 4. 医療保険の訪問看護（同一・関連法人以外） |
| 5. 専門医とのカンファレンスの実施 | 6. 専門医との日中の連絡体制 |
| 7. 訪問看護とのカンファレンスの実施 | |

【福祉用具の状況】

Q13-1: 貴事業所において、利用者の身体機能が低下してきた場合に使用する福祉用具に関する基本的な対応状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

- | |
|--|
| 1. 入居者の身体状況に関わらず、全て備え付けの福祉用具で対応している。 |
| 2. 入居者の身体状況に応じ、備え付けの福祉用具では対応できない場合、事業所がレンタル又は購入している。 |
| 3. 入居者の身体状況に応じて、備え付けではなく、全て事業所がレンタルで対応している。 |

Q13-2: 貴事業所の、利用者の身体機能が低下してきた場合に使用する備品として、過去5年以内に購入、または現在レンタルしている福祉用具について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。また、選択肢1～6の用具をお持ちの場合は、保有台数も入力して下さい。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 電動ギャッジベッド（背上げ・足上げ機能付き特殊寝台） | 台 |
| 2. 手動ギャッジベッド（背上げ・足上げ機能付き特殊寝台） | 台 |
| 3. 姿勢変換機能付き車いす（リクライニング車いす） | 台 |
| 4. 吸引器 | 台 |
| 5. リフト | 台 |
| 6. 体位変換器、床ずれ防止ベッド等特殊機能を持つベッド | 台 |
| 7. 床ずれ防止のためのマットレス、体位変換クッション等 | |
| 8. その他(10万円以上で購入又は月5千円以上でレンタル) () | |
| 9. いずれも使用していない | |

【ケアの状況】

Q14-1: 貴事業所の食事介助に関する基本的な取組状況について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。

1. 日常的な食事の献立に入居者の意思を反映することを基本としている
2. 食事に必要な食材料は入居者と共に購入に出かけることを基本としている
3. 食事の調理・盛り付け・片付けなど常時、主体的に行えるように支援している
4. 基本は上記のように行っていくが現在の入居者の状態から行えていない
5. 食事の献立は職員が決めることが基本となっている
6. 食事に必要な食材料は職員が買いに出かけている。業者が運び込むようになっている。
7. 食事は給食委託・配食業者で賄っており職員が関わることがない。
8. 食事の調理・盛り付け・片付けなど常時職員が行っている
9. 週の中で、外食や出前食を意識的に取り入れている
10. 外食や出前食は、入居者の要望がない限りは取り入れない
11. 外食や出前食を、年間行事的に取り入れることはある
12. 外食や出前食を取り入れる考えはない

Q14-2: 貴事業所の入浴介助に関する基本的な取組状況について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。

1. 本人の意思や状態・状況に応じて入浴できるようにしている
2. 夜間入浴（夕食後から就寝前）が行えるようにしている
3. 身体能力が低下した場合でも入浴の機会を確保するための設備を備えている。あるいは近隣施設等との協力関係で可能な状況にある
4. 入居者の状態に合わせてマンツーマンで入浴を行っている
5. 入浴は職員が決めた曜日や時間で入ることを基本としている
6. 夜間入浴はできていない。あるいは夜間入浴の必要性を感じていない
7. 入居者が複数で入浴する方法をとっている

Q14-3: 貴事業所の排泄介助に関する基本的な取組状況について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。

1. 入居者の状態や状況に応じて随時介助を基本としている
2. トイレで排せつすることを基本としている
3. 可能な限りオムツを使用しないようにしている
4. 定時介助を基本としている
5. 入居者の状態や状況にかかわらずトイレよりもポータブルトイレを使用することを基本としている
6. オムツを使用することが常態化している

Q14-4: 貴事業所の着替えの介助に関する基本的な取組状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

1. 朝夕は着替えることが基本となっている
2. 朝夕は着替えられる人だけ着替えてもらっている
3. 朝夕で着替えるということになっていない
4. 朝夕で着替える必要性を感じていない

Q14-5: 貴事業所の、入居者の過ごし方に関する基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 起床時間・就寝時間は入居者に応じている
2. 入居者の意思や状態・状況に応じて過ごし方を決めている
3. 入居者全員ではないが食事の買物で毎日のように外に出かけている
4. 外に出かけることを積極的に取り組んでいる
5. 入居者が個別に外出ができるようにしている
6. 趣味活動や遠出外出など非日常的な活動を取り入れている
7. 趣味活動や遠出外出など非日常的な活動は年間行事として取り組んでいる
8. 起床時間・就寝時間・消灯時間・居室に戻す時間が決められている
9. 職員が日課を決めて日課に基づいて過ごすことを基本としている
10. 入居者が個別に外出できるようにはしていない
11. 一日を通して入居者の誰一人外に出て活動しない日が週3日以上ある
12. 日常的に外に出ることは考えていない
13. 趣味活動や遠出外出など非日常的な活動は年間行事としても取り組んでいない
14. 外出や趣味活動などの必要性は感じているが、今現在は入居者の状態と職員数の関係からそうした取り組みが思うように行えず苦慮している

Q14-6: 貴事業所の、入居者へのケアを良くするためのツール類の活用状況について、以下の中から**活用しているものを全て**選択して下さい。

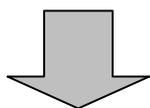
1. ケアマネジメントセンター方式（全入居者に活用）
2. ケアマネジメントセンター方式（一部の入居者で活用）
3. 「ひもときシート」（全入居者に活用）
4. 「ひもときシート」（一部の入居者で活用）
5. DCM (Dementia Care Mapping) のマッピング（今年度になって実施した場合）
6. 上記以外のツールの活用（ ）
7. 上記いずれも活用していない

Q14-7: 貴事業所の、入居者の入院中の支援に関する基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 入居者が入院した際には身の回りのことで支援している
2. 入居者が入院した際には医療機関とも協議しながら能力低下を引き起こさないために歩いたり談話する等行っている
3. 入居者が拘束を受けたりすることがないように可能な限り付き添うことがあった。もしくは必要に応じてそのように付き添う考えでいる
4. 入院中は医療機関に任せており、入院・退院時以外は関わらない

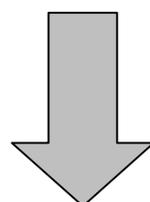
Q14-8: 貴事業所の、精神科病院への入院や支援の取組状況について、以下の中から**いずれか1つ**選択して下さい。なお、1を選んだ場合は支援している内容も選択（該当するもの全て）して下さい。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要に応じて入院してもらい、退院・再入居するよう支援する | <ol style="list-style-type: none"> 2. 必要に応じて入院してもらいが、退院・再入居の支援は行っていない 3. 精神科病院への入院は行わないようにしている 4. 分からない 5. その他（ ） |
|---|---|



【支援している内容】(全て選択)

1. 入院の際の情報共有・カンファレンス
2. 入院中の情報共有・カンファレンス
3. 退院時の情報共有・カンファレンス
4. 家族の支援や応相談、入退院の諸手続き



Q14-9: 貴事業所の、施錠の状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

1. 日中の時間帯は施錠していない
2. 入居者の状態によって日中の時間帯に施錠することがあるが、なるべく施錠しないようにしている
3. 施錠するべきだと考えている

Q14-10(Q5回答者は非表示): 貴事業所の、過去1年間で1回以上行った身体拘束について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。

1. 歩き回って転倒したりどこかに行かないよう、ベッドや車椅子に胴や手足を紐等で縛る
2. ベッド等から転落しないよう、ベッドに胴や手足を紐等で縛る
3. ベッドの周囲を柵や壁等で囲んだりして自分では降りられないようにする
4. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないよう、手足を縛る
5. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないよう、あるいは皮膚をかきむしらないよう、ミトン等を使う
6. 車椅子や椅子等からずり落ちたり、立ち上がったたりしないよう、Y字型の専用ベルト、腰ベルト（紐）等を使う
7. 立ち上がったたりしないよう、椅子・車椅子と机の距離を近づける
8. 立ち上がる能力のある人を、立ち上がりを妨げるような椅子を使用する
9. 脱衣やおむつを外す人に、介護衣（つなぎ）を着せる。
10. 他の人に迷惑をかけないように、ベッド等に胴や手足を紐等で縛る
11. 行動を落ち着かせるために、向精神薬を使っている（「過度」ではなくても、少しでも使っている場合には）
12. 自分では開けられないような部屋に閉じこめる

Q14-11: 貴事業所の、入居者の継続的な支援に関する基本的な取組状況について、以下の中からいずれれか1つ選択して下さい。

1. 関係機関と連携して最期まで継続支援することを基本とし取り組んでいる
2. 関係機関と連携して最期まで継続支援することを基本とし取り組んでいるが、常時医療行為を求められると医療職の配置がないこと等から対応できない
3. 生活支援の「最期の砦」と考え、認知症の進行や悪化、その他精神疾患がみられるような状態になっても、関係機関と連携して途中退居に至らさないように取り組んでいる
4. 最期まで継続支援したいと考えてはいるが、医療機関との連携が難しいため、最期まで継続支援できない状況にある
5. 最期まで継続支援したいと考えてはいるが、職員側の事情で、最期まで継続支援できない状況にある
6. グループホームは「ある段階まで」と考えており、家族等からの依頼があったとしても、最期の看取りまで継続支援する考えはない。

Q14-12: 貴事業所の、医療機関の選択状況について、以下の中からいずれれか1つ選択して下さい。

1. 医療機関の選択は入居者側が行っている。そのため医療機関の情報を提供している
2. 医療機関はこちらが決めている
3. 医療機関の選択肢がない地域にあるため選択できない事情がある

Q14-13: 貴事業所の、人員配置の状況について、以下の中から**いずれか1つ**選択して下さい。

1. 基準の基本に基づいて、共同生活住居(ユニット)毎に管理者を常勤で配置して管理・運営にあたっている
2. 管理者は、計画作成担当者もしくは介護職員を兼務しているがユニット毎に配置している
3. 一人が複数ユニットの管理者を兼務している（管理者専任）
4. 管理者は複数ユニット兼務で一人だが、ユニット毎に責任者（リーダー等）を配置してユニット毎に管理運営することを基本としている
5. 一人が複数ユニットの管理者を兼務し、なおかつ計画作成担当や介護職も兼務している

Q14-14: 貴事業所の、入居者の介護計画の作成に関する基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 介護計画は、毎月見直し・作成している
2. 介護計画は、概ね2ヶ月に1回程度見直し・作成している
3. 介護計画は、6ヶ月に1回見直し・作成している
4. 介護計画は、計画作成担当者を軸に職員が集まって協議した上で作成している
5. 介護計画の作成に当たっては、主治医や訪問看護ステーションの看護師等関係する外部の者からも意見聴取するようにしている
6. 介護計画は、計画作成担当者が管理者と協議して作成している
7. 介護計画は、計画作成担当者が作成している
8. 介護計画は、入居者に説明する（同意まで至れなくとも）ことを基本にしている
9. 介護計画を入居者に説明することはなく説明する考えもない。家族等とのみやりとりしている
10. 介護計画が見直し作成されれば、会議や回覧などを通して必ず職員に周知している
11. 介護計画を見直し作成しても、職員に周知するには至っていない
12. 職員が介護計画に触れることはない

Q14-15: 貴事業所の、職員会議の開催状況について、以下の中から**いずれか1つ**選択して下さい。

1. 職員会議を月例開催している
2. 職員会議を2ヶ月に1回の頻度で計画的に行っている
3. 職員会議を6ヶ月に1回の頻度で計画的に行っている
4. 職員会議を行ってはいるが定例化していない
5. 職員会議は行っていない

Q14-16: 貴事業所の、消防・防災訓練の実施状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 消防・防災訓練を毎月定例化して行っている
2. 消防・防災訓練を2ヶ月に1回程度行っている
3. 消防・防災訓練を6ヶ月に1回程度行っている
4. 消防・防災訓練は1年に1回程度しか行えていない
5. 消防・防災訓練は消防署の指導を仰ぎながら行っている
6. 消防・防災訓練は地域住民等と行っている
7. 住民組織（町会等）の主催する消防・防災訓練に参加している

Q14-17: 貴事業所の、安全設備の状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. スプリンクラーがある
2. 煙感知器がある
3. 非常通報装置がある
4. 漏電感知器がある
5. その他安全設備がある
6. 上記いずれもない

Q14-18: 貴事業所の、職員研修の実施状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 全職員を対象に事業所として研修を年間2回以上、計画的に行っている
2. 管理者を対象に事業者として研修を行っている。または外部の研修に参加している
3. 計画作成担当者を対象に事業者として研修を行っている。または外部の研修に参加している
4. 事業者が主催する研修に外部講師を招いている
5. 全職員を対象とした研修会は行っていない
6. 管理者や計画作成担当者を対象に事業者としての研修会は行っていない
7. 外部の研修会に参加した実績がない

Q14-19: 貴事業所の、入居者の家族との連携における基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 事業者・事業所主催による家族との懇談会等を定期的（年間3回以上）に行っている
2. 家族による家族会があり、家族会主催の会合が行われている
3. 懇談会や家族会などの会合は、ユニットごとに行うことを基本としている
4. 家族も交えた行事等を定期的に行っている
5. 事業者・事業所主催による家族との懇談会等は行っていない
6. 家族による家族会は結成されていない

Q14-20: 貴事業所の、入居者の身体機能の低下に伴う介助における指導・助言等に関する基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 入居者の食事の献立や食品衛生管理について専門家（管理栄養士等）から指導や助言を得ている
2. 入居者の生活環境（衛生管理）について専門家（保健師・管理栄養士等）から指導や助言を得ている
3. 入居者個別に適正な身体介助方法について専門家（理学療法士等）による指導・助言を得ている
4. 専門家による指導や助言を仰ぎたいと考えているが適任者がいない
5. 専門家による運営上の指導や助言を得る必要性を感じていない

Q14-21: 貴事業所の、入居者の入退去に関する基本的な取組状況について、以下の中から**該当するものを全て**選択して下さい。

1. 入居の可否判断や入居判定を行うに当たって事業所職員以外の者からの意見を受ける等、公平性や客観性に配慮している
2. 入居の可否判断や入居判定を行うに当たって介護職だけでなく医師・看護師・理学療法士・管理栄養士等医療職の助言を得ている
3. 入居の可否判断や入居判定は経営者や管理者が行っている
4. 退居の可否判断を行うに当たって事業所職員以外の者からの意見を受ける等、妥当性や客観性に配慮している
5. 退居の可否判断を行うに当たって介護職だけでなく医師・看護師・理学療法士・管理栄養士等医療職の助言を得ている
6. 退居の可否判断は経営者や管理者が行っている
7. 入退居の可否判断は事業者・事業所の専権事項であり、家族との合意があれば良いので、部外者を加える必要性を感じていない

Q14-22: 貴事業所の、利用料の使途の開示に関する基本的な取組状況について、以下の中から該当するものを全て選択して下さい。

1. 実費相当の徴収となっている食材料費等については、定期的に入居者・家族等にその使途について報告している
2. 実費相当の徴収となっている食材料費等について残金が出た場合は、入居者・家族に返金することを基本にしている
3. 実費相当の徴収となっている食材料費等の取り扱いはユニットごとに使うことになっており、使途の権限は管理者に委ねられている
4. 実費相当の徴収となっている食材料費等について、その使途状況を入居者・家族に報告することはない
5. 実費相当の徴収となっている食材料費等について残金が出たとしても、入居者・家族に返金することは考えていない

Q14-23: 貴事業所の、外部評価の実施状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

1. 外部評価は、基準はどうあれ、毎年受けることを基本にしている
2. 外部評価は、基準に基づいて受けることを基本にしている
3. 外部評価の必要性を感じている
4. 外部評価は、必要ないと考えている

Q14-24: 貴事業所の、地域からの相談に対する基本的な取組状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

1. 地域住民等からの相談を受け付ける体制をとり、地域住民に告知している
2. 地域住民等からの相談に対し、地域包括支援センター等と連携して事の解決にあたっている
3. 地域住民等から相談を受けた場合は、地域包括支援センターにつなぐ等、取り次ぎは行っているが、自ら事の解決に至るための行動は行っていない
4. 地域住民等からの相談を受ける考えはない

Q14-25: 貴事業所の、地域への啓蒙活動に関する基本的な取組状況について、以下の中からいずれか1つ選択して下さい。

1. 事業者・事業所主催で市民講座など啓もう活動を定期的に行っている
2. 事業者・事業所単独ではないが他の事業者・事業所と連携して市民講座など啓もう活動を定期的に行っている
3. 事業者・事業所として市民講座などを開く考えはない

【職員育成の状況】

Q15: 貴事業所の職員の、**本年10月1日時点**での以下の各研修の修了者数を、半角数字で入力して下さい。該当者がいない欄は0(ゼロ)を入力して下さい。

(該当する修了者数の記載・重複可)	常勤職員	非常勤職員
①グループホーム管理者研修	人	人
②認知症介護指導者研修	人	人
③認知症介護実践研修（リーダー研修）	人	人
④認知症介護実践研修（実践者研修）	人	人

Q16: 貴事業所の職員の、外部主催の研修の派遣者数・回数（職員自ら休暇等を利用して参加した研修を含めない）を、半角数字で入力して下さい。派遣がない場合は0（ゼロ）を入力して下さい。

昨年度	人・回	人数と回数をかけた値を入力して下さい。 例①: 年間で3人が2回=3×2=6人回 例②: 年間で1人が3回と2人が1回=1×3+2×2=7人回
今年度(年度末までの予定も含む)	人・回	

Q17: 貴事業所内での、**昨年度**の、介護従事者向けの研修の実施回数・延べ時間数を、半角数字で入力して下さい。該当する研修を実施していない場合は0（ゼロ）を入力して下さい。

(昨年度・事業所内)	年間実施回数	年間延べ実施時間	
ケース検討会	回	時間	※例えばテーマ別にケース検討会を実施する等、1回の研修で左記の複数の内容を実施している場合、重複カウントせずどちらかに計上して下さい
テーマ別(毎回テーマを設定し学習)	回	時間	
資格取得支援	回	時間	
その他	回	時間	

Q18: 貴事業所での、**昨年度**の、同業者との交流(スキル向上や知識習得のための勉強会、相互訪問等。但し地域内での事業所研修会は除く)の実施回数を、半角数字で入力して下さい。交流を実施していない場合は0（ゼロ）を入力して下さい。

勉強会・講習会等	年間	回
相互訪問による研修	年間	回
その他	年間	回

Q19-1: 貴事業所では、職員のスキル向上のための、事業所全体で年間の研修・教育計画を作成していますか。以下の中から**1つ**選択して下さい。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 事業所全体で、年間の研修・教育計画を決めている 事業所全体で、年間の研修・教育計画を決めていない |
|---|

Q19-2: 貴事業所では、職員のスキル向上のための、個人別の研修・教育計画を作成していますか。以下の中から**1つ**選択して下さい。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 職員全員の年間の研修・教育計画を定めている。 一部の職員（初任者とか、介護職員のみとか）のみの年間研修・教育計画を定めている 個人別の年間研修・教育計画は定めていない |
|---|

Q20: 貴事業所では、職員のスキル向上のため、職員の資格取得を支援していますか。以下の中から実施しているものを**全て**選択して下さい。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 勤務時間内での勉強時間の割り当て 有給での資格取得休暇（勉強・受験のための休暇） 事業所内での勉強会（事業所内塾） 受験費用の事業所負担 資格取得時の報奨金 資格取得者の給与上乘せ（資格手当等） 上記以外の支援策 特に支援はしていない |
|--|

Q21: 貴事業所の、昨年度の、職員の人材育成費用(外部研修の受講費・交通費等派遣費用や、事業所内研修会の講師招聘費用等)を、半角数字で入力して下さい。人材育成費用がない場合は0(ゼロ)を入力して下さい。

昨年度の事業活動収入計	円	平成24年度「事業活動収支計算書」や「事業活動計算書」等から抜き書き 外部研修の受講費・交通費等派遣費用や、事業所内研修会の講師招聘費用等
昨年度の人材育成費用	円	

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。